

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	4回
中学校区を単位とした協議会	4回
地域及び家庭への学校公開	6回 6日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	42名
授業ボランティア(含:低ボラン)	0名
登下校支援ボランティア	0名
その他(学校祭協力)	27名

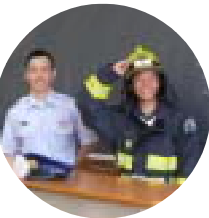
(3) 特色ある活動

テーマ「キャリア教育」 ~先輩や地域から、働くことの 意義や生き方を学ぼう~
--

具体的活動内容

「ようこそ先輩～中学生へのメッセージ働くとは?～」

夢に向かって努力し、夢をつかんだ先輩達の体験談を通して、働くことの意義や目的について考え、先輩達の生き方を学ぶことをねらいとして、講演会を開催した。先輩からの講演会を前に、「働くとは」というテーマで各学級で話し合いを行った。7月に、5名の朝日地区出身の方に来校していただき、グループ毎に職業紹介・進路選択・職業観・中学生へのメッセージを話していただいた。生徒は、この学習を通して職業の内容を知るとともに、地域の先輩の話聞くことで、仕事の喜びや地域のために働くことの大切さを学んだ。



「職場体験」

本校では2学年において、地区内事業所での2日間の職場体験を実施している。(本年度は台風の影響で1日だけの体験)希望する職場への連絡、履歴書記入など実社会のように事前の取り組みを行った。将来の夢、希望にそった職場での体験や働く人からの話などから仕事の大変さ、苦勞と喜び、働く意義を感じ取り、今後の進路学習の参考にしていた。また、経験したことを各グループ毎にまとめ、1年生対象の発表会を行った。



なお、1年生では夏休みを利用し、保護者が働く職場を訪問し、親が働いている職場や仕事内容を直に参観する機会をもち、系統性のあるキャリア教育を行っている。



成果と課題

本年度は、「ようこそ先輩」を初めて行った。生徒の希望する業種から5人の方にお話を聞かせていただき、充実した職場体験の活動へとつながった。今後は生徒の希望する事業所の発掘と日数の確保について考え、更に系統性のある確かな進路学習へ発展させる計画が必要である。

